

萩原守衛

あきらめい

彫刻家。明治十九年十一月、長野県生まれ、廿一年

明治二十四年アメリカに渡る。二十六年フランスに移りクロダンに接し、彫刻家に轉じた。廿一年歸國、新宿中村屋裏にアトリエを運び、代表作「女」を完成後略血して差送。

著書『彫刻眞髓』（中村不折編、明治四十四年十月、一十九種表紙、書立館發賣。卅年・昭和九年十月十二日長野・櫻町御遊町等小學校）、『生呑の藝術』（福田久道編、昭和四年四月）等、『木星社書院』等。

